

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
2 世界に開かれた活力あふれる熊本 (施策1)「くまもとで働く」人材の確保・育成 施策1ー②様々な分野の人材確保	38,030	34,273	1 建設産業担い手確保・育成事業 (1) 「建設産業の力」発信事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 若年者の人材確保を図るため、行政、業界団体、教育機関が一体となったイベントや広報を実施した。 ・高校生向け建設産業ガイダンスの開催：561 人 ・工業高校オープンキャンパスの支援 ・高校生の現場見学及び現場実習への補助 ・県内建設企業の女性の活躍推進への補助 (2) 建設産業働き方改革・人材育成事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 若年者の人材確保・育成を図るため、高校生や従業員の認定訓練受講、建設企業等の働き方改革推進、研修体制構築に要する経費の一部を補助した。 ・高校生の資格取得交通費支援：242 人 ・高校生の小型車両系建設機械講習：288 人 ・認定訓練受講者の賃金補助：5 人 ・企業の働き方改革推進への補助：27 件 (3) 建設産業若手人材確保緊急対策事業 県内建設産業の担い手確保に向けて、主に高校生を対象とした「建設企業魅力発見フェア」を開催した。 ・令和6年6月19日、グランメッセ熊本にて開催 ・参加建設企業65社、参加者約600人	建設業指導監督費のうち P329 ～ P330

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策2) 世界に伍する産業拠点熊本の創出 施策2-①半導体を中心とした新たな産業 基盤の構築	14,071,958	6,766,001	1 国直轄事業負担金 幹線道路ネットワークの横軸となる中九州横断道路について、令和6年度に「大津道路」が新規に事業化され、更に、「滝室坂道路」の令和8年度開通見通しが発表された。また、「竹田阿蘇道路」及び「大津熊本道路（合志～熊本）」の工事を促進するとともに、「大津熊本道路（大津西～合志）」の調査設計を促進した。 2 地域道路改築費 セミコンテクノパーク周辺における半導体関連企業集積に伴う新たな交通需要に対応するため、将来の基幹となる道路ネットワークの中から、大津植木線の多車線化及び合志ICアクセス道路等を優先し整備を推進した。 大津植木線多車線化及び合志ICアクセス道路については、令和10年度完成に向け、令和6年9月に都市計画法に基づく事業認可を取得し、契約に向けた用地交渉を開始した。 一般県道新山原水線（都市計画道路菊陽空港線）は、令和6年4月に全ての用地買収が完了し、令和8年度完成に向けて、道路改良工事やJR豊肥線をまたぐ橋梁の下部工工事等を進め、令和6年10月には橋梁上部工に着手した。	道路橋りょう総務費のうち P333 ～ P335 道路新設改良費のうち P336 ～ P338
施策2-③地域経済の振興	1,820,800	1,410,200	1 物流拠点機能向上事業 コンテナターミナルの機能向上を図るため、八代港では、冷凍・冷蔵貨物の輸送に対応するリーファーコンセンートの整備を完了するとともに、不足するコンテナターミナルの拡張に向けた測量設計を推進した。また、熊本港では、新たなガントリークレーンの製作等の工事を推進し、令和7年1月に完成した。	港湾整備費のうち P449

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名								
(施策3)「食のみやこ熊本県」の創造 施策3－②稼げる農林畜水産業の実践	176	88	1 木造設計アドバイザー普及事業 県内市町村が発注する木造建築物の設計に際して、県産木材の利用促進及び質の高い建築物の整備につなげるため、専門性の高い木造設計アドバイザーを派遣した。 ・天草市への支援 天草市が計画している「史跡棚底城跡ガイダンス施設及び倉岳支所（仮称）」の設計に際して、木造設計アドバイザー2名を派遣し、アドバイスを会議を実施した。	土木総務費のうち P329								
(施策4) スポーツ、観光、文化芸術の振興 施策4－①スポーツ政策の推進	2,032,865	1,008,291	1 道路施設保全改築費(自転車走行空間整備) サイクルツーリズムを推進するため、安全な自転車走行空間の整備として、路面表示、道路標識及び自転車通行帯の整備等を県内一円で行った。	道路新設改良費のうち P336 ～ P338								
施策4－②観光振興	395,306	246,362	1 くまもとアートポリス推進費 「くまもとアートポリス」では、社会の変化に適応しながら、地域の活性化に資する熊本独自の豊かな生活空間を創造するため、地域とのつながり、地元建築産業との連携、人材育成等を重視した取組みを行った。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>内 容</th></tr><tr><td>プロジェクト事業（設計者等を推薦）</td><td>新規プロジェクト1件（相良村）</td></tr><tr><td>顕彰事業（くまもとアートポリス推進賞）</td><td>推進賞3件、推進賞選賞4件</td></tr><tr><td>企画・広報・人材育成事業</td><td>学生向け現場見学会の開催、広報の実施等</td></tr></table> 2 くまもとアートポリス建築展 2024 建築展 2024 では、「持続する志—くまもとアートポリス 36 年—」をテーマに、これまで県民とともに育み、継続してきた「くまもとアートポリス」の取組とこれからの展望について、小さなコミュニティに関するシンポジウムやこれまでの取組みを振り返る巡回展、近年のアートポリスプロジェクトの見学ツアー等を通して、台湾や韓国等を含め広く国内外に発信した。	事 業 名	内 容	プロジェクト事業（設計者等を推薦）	新規プロジェクト1件（相良村）	顕彰事業（くまもとアートポリス推進賞）	推進賞3件、推進賞選賞4件	企画・広報・人材育成事業	学生向け現場見学会の開催、広報の実施等	土木総務費のうち P327 ～ P329
事 業 名	内 容											
プロジェクト事業（設計者等を推薦）	新規プロジェクト1件（相良村）											
顕彰事業（くまもとアートポリス推進賞）	推進賞3件、推進賞選賞4件											
企画・広報・人材育成事業	学生向け現場見学会の開催、広報の実施等											

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名															
(施策 4－②観光振興)			3 緑のウェルカムプロジェクト 本県を訪れる方々を緑の景観で迎えることで、新たな観光客やリピーターの呼び水とするため、交通の拠点と観光地をつなぐルート上等の道路植栽の改善や都市公園植栽の再整備等を推進した。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>決 算 額</th><th>箇 所 名</th></tr><tr><td>単県沿道景観整備事業（道路保全課）</td><td>173,689</td><td>県内一円</td></tr><tr><td>単県河川環境整備費（河川課）</td><td>1,440</td><td>坪井川遊水地</td></tr><tr><td>公園整備促進事業費（都市計画課）</td><td>37,957</td><td>熊本県民総合運動公園外</td></tr><tr><td>単県都市公園環境整備事業（都市計画課）</td><td>9,272</td><td>熊本県民総合運動公園外</td></tr></table>	事 業 名	決 算 額	箇 所 名	単県沿道景観整備事業（道路保全課）	173,689	県内一円	単県河川環境整備費（河川課）	1,440	坪井川遊水地	公園整備促進事業費（都市計画課）	37,957	熊本県民総合運動公園外	単県都市公園環境整備事業（都市計画課）	9,272	熊本県民総合運動公園外	道路維持費のうち P335 ～ P336 河川改良費のうち P342 ～ P343 都市公園費のうち P357 ～ P358
事 業 名	決 算 額	箇 所 名																	
単県沿道景観整備事業（道路保全課）	173,689	県内一円																	
単県河川環境整備費（河川課）	1,440	坪井川遊水地																	
公園整備促進事業費（都市計画課）	37,957	熊本県民総合運動公園外																	
単県都市公園環境整備事業（都市計画課）	9,272	熊本県民総合運動公園外																	
(施策 5) 交通の利便性向上 施策 5－①交通渋滞解消	292,834	132,231	1 単県道路改築費 熊本県新広域道路交通計画（令和 3 年 6 月策定）において高規格道路として位置付けた熊本都市圏 3 連絡道路の具体化に向け、令和 7 年 3 月に第 2 回熊本都市圏 3 連絡道路有識者委員会を開催した。「地域と道路の現状と課題を踏まえた政策目標（案）の設定」や「地域と道路の課題に関する住民意見の聴取方法」について議論し、「住民参加型の道路計画検討」を推進した。 2 熊本都市圏渋滞対策事業 熊本都市圏総合交通戦略に基づく施策を進めるとともに、交通管理者と連携し設置した車両感知器を用いた分析結果等により、信号制御の見直しや交差点改良等に着手し、熊本大津線の 2 箇所の交差点において、交通管理者協議を進め、対策工事を発注した。 また、都市圏南部の渋滞対策として、県道小川嘉島線や六嘉秋津新町線などの改良やバイパス計画策定に向けた取組みを推進した。	道路新設改良費のうち P336 ～ P338 街路事業費のうち P356 ～ P357															

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
施策 5 ー②交通体系の見直し	16,328,739	12,852,374	1 国直轄事業負担金、道路改築費 物流の効率化・人流の円滑化等を図るため、幹線道路の整備を実施した。 (1) 九州中央自動車道 幹線道路ネットワークの横軸となる九州中央自動車道について、「蘇陽五ヶ瀬道路」の工事、及び「矢部清和道路」の調査設計を促進した。 (2) 南九州西回り自動車道 幹線道路ネットワークの縦軸となる南九州西回り自動車道について、水俣～県境間の工事を促進した。 (3) 中九州横断道路 幹線道路ネットワークの横軸となる中九州横断道路について、令和6年度に「大津道路」が新規に事業化され、更に、「滝室坂道路」の令和8年度開通見通しが発表された。また、「竹田阿蘇道路」及び「大津熊本道路（合志～熊本）」の工事を促進するとともに、「大津熊本道路（大津西～合志）」の調査設計を促進した。 (4) 熊本天草幹線道路 県土の横軸となる熊本天草幹線道路について、国施行区間である「宇土道路」の「糖塚山トンネル」が、令和6年7月に貫通した。また、「熊本宇土道路」の工事及び「宇土三角道路」の調査設計を促進した。県施行区間については、「大矢野道路」の「新大矢野トンネル」が、令和7年2月に貫通した。また、「本渡道路Ⅱ期」の調査設計を推進した。 (5) 有明海沿岸道路 九州における循環型ネットワークの一部を形成する有明海沿岸道路について、「三池港ⅠC連絡路」の工事、及び「荒尾道路」の調査設計を促進した。また、令和7年3月には、「長洲町～玉名市」間において、2回目となる計画段階評価の審議が行われた。	道路橋りょう総務費のうち P333 ～ P335 道路新設改良費のうち P336 ～ P338

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名				
施策 5－③熊本空港の活性化	9,271,442	4,204,132	1 地域道路改築費 国道 443 号多車線化については、白川右岸側の道路改良工事を推進するとともに、左岸側の用地買収を推進した。 また、堂園小森線については、令和 7 年 3 月に一部区間の供用を開始した。 2 街路整備事業のうち熊本高森線（（都）益城中央線外 1 線） 熊本都市圏東部地域の復興に向けて取り組む県道熊本高森線（（都）益城中央線外 1 線）の街路整備事業について、令和 6 年 4 月までに熊本市側から益城町惣領交差点までの 1.6km 区間で 4 車線化を実施した（令和 6 年 4 月 14 日に供用開始）。	道路新設改良費のうち P336 ～ P338 街路事業費のうち P356 ～ P357				
3 いつまでも続く豊かな熊本 （施策 2）移住定住、関係人口創出 施策 2－①移住定住、UIJ ターンの促進	8,348	3,290	1 空家等対策総合支援事業 空家の有効活用による地域資源を利用した持続可能な地域づくりを促進するため、空家対策を進める市町村に対して、補助を行った。 ・空家活用促進モデル事業 2 町 2 件 ・空家対策専門家活用支援事業 10 市町村 延べ 61 人	住宅建設費のうち P360 ～ P361				
（施策 4）社会の多様性 施策 4－②多様な主体の社会参画	1,500	1,500	1 熊本県ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業 民間建築物における UD 整備を推進するため、一定の基準を満たす不特定多数の方が利用される建築物の改修に対して、市町村とともに建築費の一部を助成した。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>内 容</th></tr><tr><td>熊本県ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業</td><td>山鹿市、上天草市</td></tr></table>	事 業 名	内 容	熊本県ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業	山鹿市、上天草市	建築指導費のうち P330 ～ P332
事 業 名	内 容							
熊本県ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業	山鹿市、上天草市							
施策 4－③動物愛護の推進			1 県営住宅におけるペット同居の可能性の検討 ペット同居可の共同住宅（公共・民営）に関する情報収集やペット同居の入居ルール等制度設計の検討を行った。					

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的復興 施策1－①「緑の流域治水」の更なる推進 による一日も早い安全・安心の実現	25,042,105	13,036,115	1 地域道路改築費、単県道路改築費 (1) 五木村振興計画の推進 五木村振興計画の早期実現に向け、国道445号や県道宮原五木線等において、年間を通じて安全・安心に利用できる道路環境の整備に取り組んだ。 国道445号では、五木村内の九折瀬工区の他、美里・山都町方面の五家荘工区や早楠工区、人吉方面の上下坂工区等の道路改良工事、及び斜面对策工事を推進した。 県道宮原五木線では、椿工区において、五木村振興計画に掲げる村内の新規道路改良事業として初めて工事に着手した。 (2) 相良村振興策の推進 相良村振興策の推進に向け、国道445号の相良バイパスや、上下坂工区の道路改良事業に取り組んだ。 相良バイパスでは、令和6年8月にバイパスルート案についての住民説明会を開催し、事業への概ねの理解を得たことから、令和7年度の用地買収着手に向け、道路詳細設計を推進した。 2 土地区画整理事業 災害からの復興に向けて取り組む人吉市青井地区の被災市街地復興土地区画整理事業について、令和6年11月に全107画地の仮換地指定を完了した。また、令和7年3月までに、全体の約5割となる49画地で宅地造成工事に着手した。	道路新設改良費のうち P336 ～ P338 土地区画整理費のうち P354 ～ P355

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名														
(施策 1－①「緑の流域治水」の更なる推進 による一日も早い安全・安心の実現)			3 球磨川水系の河川整備等 令和 2 年 7 月豪雨により被災した球磨川流域の早期復旧を図るため、河川整備を推進した。 御溝川（人吉市）について、令和 7 年 3 月に二次放水路が完成した。 田頭川（あさぎり町）について、用地買収が完了し、令和 7 年 3 月に工事着手した。 川辺川（相良村）について、令和 7 年 1 月に河川整備関係工事着工式を開催し、その後、下 鶴地区（遊水機能）、平川地区（河川整備）、黒石地区（遊水機能）の工事に順次着手した。	河川海岸総務費のうち P339 ～ P342 河川改良費のうち P342 ～ P343														
			事 業 名		決 算 額	箇 所 名	河川改修事業費	740,573	川辺川 外 3 河川	直轄事業負担金	1,336,643	球磨川川辺川ダム 外 1 河川	単県河川改良費	483,081	川辺川 外 11 河川	河川掘削事業費	548,730	川辺川 外 19 河川
			事 業 名		決 算 額	箇 所 名												
			河川改修事業費		740,573	川辺川 外 3 河川												
			直轄事業負担金		1,336,643	球磨川川辺川ダム 外 1 河川												
			単県河川改良費		483,081	川辺川 外 11 河川												
			河川掘削事業費		548,730	川辺川 外 19 河川												
			4 砂防激甚災害対策特別緊急事業等 令和 2 年 7 月豪雨により激甚な土砂災害が発生した区域において、再度災害を防止するため 砂防施設整備や避難体制強化等の「球磨川水系流域治水プロジェクト」に沿った取組みを推進 した。		砂防費のうち P343 ～ P345													
			事 業 名			決算額	箇 所 名	砂防激甚災害対策特別緊急事業	2,003,720	簸瀬川（芦北町）外 8 箇所	砂防事業	4,588,730	万江川（山江村）外 2 箇所					
			事 業 名			決算額	箇 所 名											
砂防激甚災害対策特別緊急事業	2,003,720	簸瀬川（芦北町）外 8 箇所																
砂防事業	4,588,730	万江川（山江村）外 2 箇所																
5 直轄道路災害復旧事業 豪雨により被災した球磨川に架かる 10 橋については、道路法に基づく国の権限代行により復 旧事業に取り組んでいる。西瀬橋が令和 5 年 2 月に、沖鶴橋が令和 7 年 3 月に開通し、また、 残る 8 橋全てについて、本復旧工事を推進するなど、復旧・復興に向けた取組みを促進した。	河川等補助災害復旧費のうち P412 ～ P414																	
6 災害公営住宅等の早期完成に向けた市町村への技術支援 災害公営住宅等の早期完成に向けて、市町村への技術支援を実施した。 ・全 12 地区 282 戸のうち、11 地区 272 戸が完成																		

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名															
(施策2) 災害に強い県土づくり 施策2－①防災力の強化	1,857,424	930,075	1 住宅耐震化緊急促進事業 布田川・日奈久断層帯をはじめとする今後発生しうる大地震に備えるため、木造住宅の所有者に対し、耐震診断及び耐震改修を支援した。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>決 算 額</th><th>内 容</th></tr><tr><td>住宅耐震化緊急促進事業</td><td>217</td><td>御船町、甲佐町</td></tr></table> 2 危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業 土砂災害から県民の生命・身体を守るため、土砂災害特別警戒等区域内の居住者に対し、住宅の撤去及び土砂災害警戒区域等外への移転を支援した。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>決 算 額</th><th>内 容</th></tr><tr><td>危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業（建築課）</td><td>8,146</td><td>熊本市、山鹿市</td></tr><tr><td>土砂災害危険住宅移転促進事業（砂防課）</td><td>20,405</td><td>熊本市 外7件</td></tr></table> 3 単県道路災害防除費（単県道路調査費） 大規模地震時等における初期対応を円滑に行うため、道路啓開が被災後迅速に進められるよう、道路啓開の手順・体制等を定めた「熊本県道路啓開計画」を令和6年12月に策定した。 4 道路施設保全改築費（道路災害防除）、単県道路災害防除費 緊急輸送道路の防災点検要対策箇所の整備を行った。	事 業 名	決 算 額	内 容	住宅耐震化緊急促進事業	217	御船町、甲佐町	事 業 名	決 算 額	内 容	危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業（建築課）	8,146	熊本市、山鹿市	土砂災害危険住宅移転促進事業（砂防課）	20,405	熊本市 外7件	建築指導費のうち P330 ～ P332 建築指導費のうち P330 ～ P332 砂防費のうち P343 ～ P345 道路維持費のうち P335 ～ P336 道路維持費のうち P335 ～ P336 道路新設改良費のうち P336 ～ P338
事 業 名	決 算 額	内 容																	
住宅耐震化緊急促進事業	217	御船町、甲佐町																	
事 業 名	決 算 額	内 容																	
危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業（建築課）	8,146	熊本市、山鹿市																	
土砂災害危険住宅移転促進事業（砂防課）	20,405	熊本市 外7件																	

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
施策２－②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備	100,460,976	54,590,145	1 国直轄事業負担金、道路改築費（再掲）（P98に記載）	道路橋りょう総務費のうち P333 ～ P335 道路新設改良費のうち P336 ～ P338
			2 橋りょう補修事業 橋梁の老朽化対策については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき補修を実施するとともに、緊急輸送道路上の橋梁については、耐震補強を推進した。	道路新設改良費のうち P336 ～ P338 橋りょう維持費のうち P338 ～ P339
			3 道路施設保全改築費（国土強靱化分） 災害リスクを踏まえ、防災・減災、国土強靱化を推進する観点から、災害多発区間における落石や斜面崩壊に対する防災対策、老朽化したトンネルや道路附属施設の補修等を行った。	道路新設改良費のうち P336 ～ P338
			4 河川等災害復旧事業等 令和２年７月豪雨等により被災した公共土木施設の早期復旧を図るため、復旧工事を推進した。	河川改良費のうち P342 ～ P343 河川等補助災害復旧費のうち P412 ～ P414
5 土地区画整理事業 災害からの復興に向けて取り組む益城町木山地区の被災市街地復興土地区画整理事業について、令和７年３月までに全482画地の仮換地指定を完了した。また、令和７年３月末までに、全体の約５割となる231画地を権利者に引き渡した。	土地区画整理費のうち P354 ～ P355			
6 街路整備事業のうち熊本高森線（（都）益城中央線外1線）（再掲）（P99に記載）	街路事業費のうち P356 ～ P357			

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策2－②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備)			7 河川改修事業等	河川海岸総務費のうち
			県民の生命・財産を守るため、流域治水の理念の下、堤防・遊水地整備等のハード対策を推進した。また、既存の河川管理施設や海岸保全施設の延命化を図るための補修修繕・機能回復・強化を実施した。	P339 ～ P342
			併せて、洪水災害等に対する警戒・避難活動を支援するため、防災情報システムの改修やダム警報局の改善を行うなど、ソフト対策の充実を図った。	河川改良費のうち
				P342 ～ P343
				海岸保全費のうち
				P345 ～ P346
			8 国直轄事業負担金、港湾環境整備事業、港湾整備事業	港湾建設費のうち
			(1) 八代港	P349 ～ P350
			国直轄事業において、船舶の大型化に対応する水深14m航路の整備に向け、浚渫土砂の処分先となる大築島南土砂処分場の整備を推進した。	
			県事業において、航路や泊地の機能維持、港湾施設の長寿命化のための工事等を推進した。	
			(2) 熊本港	
			国直轄事業において、港内静穏度確保に資する防波堤（南）の整備を推進するとともに、物流・防災拠点機能の向上に繋がる耐震強化岸壁の工事に着手した。	
			県事業において、航路や泊地等の浚渫土砂の安定的な処分場確保に向け、土砂処分場の延命化対策（圧密促進）を推進した。	
			その他、航路や泊地の機能維持、港湾施設の長寿命化のための工事等を推進した。	

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名																											
(施策2－②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備)			9 砂防関係事業 県民の生命・財産を守るため、土石流、地すべり、がけ崩れに対する土砂災害防止施設を整備した。 また、戦略的な維持管理のための緊急改築事業や土砂災害警戒区域等の指定促進及び各種情報の発信等による警戒避難体制の強化を図った。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>決 算 額</th><th>箇 所 名 等</th></tr><tr><td>直轄事業負担金</td><td>1,107,774</td><td>川辺川直轄砂防、阿蘇山直轄砂防</td></tr><tr><td>砂防事業</td><td>4,588,730</td><td>中登川（宇土市）外 60 箇所</td></tr><tr><td>地すべり対策事業</td><td>585,282</td><td>上久保（天草市）外 13 箇所</td></tr><tr><td>急傾斜地崩壊対策事業</td><td>1,391,883</td><td>折地（熊本市）外 48 箇所</td></tr><tr><td>砂防激甚災害対策特別緊急事業</td><td>2,003,720</td><td>簸瀬川（芦北町）外 11 箇所</td></tr><tr><td>土砂災害警戒避難対策事業</td><td>147,372</td><td>基礎調査 142 箇所</td></tr><tr><td>緊急改築事業</td><td>828,722</td><td>萩原川（玉名市）外 55 箇所</td></tr><tr><td>火山噴火警戒避難対策事業</td><td>79,927</td><td>阿蘇山噴火に起因する災害への減災対策</td></tr></table>	事 業 名	決 算 額	箇 所 名 等	直轄事業負担金	1,107,774	川辺川直轄砂防、阿蘇山直轄砂防	砂防事業	4,588,730	中登川（宇土市）外 60 箇所	地すべり対策事業	585,282	上久保（天草市）外 13 箇所	急傾斜地崩壊対策事業	1,391,883	折地（熊本市）外 48 箇所	砂防激甚災害対策特別緊急事業	2,003,720	簸瀬川（芦北町）外 11 箇所	土砂災害警戒避難対策事業	147,372	基礎調査 142 箇所	緊急改築事業	828,722	萩原川（玉名市）外 55 箇所	火山噴火警戒避難対策事業	79,927	阿蘇山噴火に起因する災害への減災対策	砂防費のうち P343 ～ P345
事 業 名	決 算 額	箇 所 名 等																													
直轄事業負担金	1,107,774	川辺川直轄砂防、阿蘇山直轄砂防																													
砂防事業	4,588,730	中登川（宇土市）外 60 箇所																													
地すべり対策事業	585,282	上久保（天草市）外 13 箇所																													
急傾斜地崩壊対策事業	1,391,883	折地（熊本市）外 48 箇所																													
砂防激甚災害対策特別緊急事業	2,003,720	簸瀬川（芦北町）外 11 箇所																													
土砂災害警戒避難対策事業	147,372	基礎調査 142 箇所																													
緊急改築事業	828,722	萩原川（玉名市）外 55 箇所																													
火山噴火警戒避難対策事業	79,927	阿蘇山噴火に起因する災害への減災対策																													
(施策3) 健康で長寿な社会の実現 施策3－②地域共生社会の実現	40,044	16,115	1 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 高齢社会に対応した高齢者向け住宅の供給を促進するため、住宅供給を行う民間事業者等に対し助成を行った。 ・高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助 4件 54 戸	住宅建設費のうち P360 ～ P361																											
(施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4－③交通安全意識の普及啓発の促進	3,077,004	1,554,499	1 道路施設保全改築費（通学路緊急対策・自転車走行空間整備（再掲）（P96に記載）） 令和3年6月28日に千葉県八街市で、下校中の小学生の列にトラックが衝突し、5名が死傷する交通事故が発生したことを受け、市町村立小学校の通学路について、教育委員会・学校、PTA、道路管理者、警察等による通学路の合同点検を実施した箇所の安全確保を目的として、歩道整備やカラー舗装等の整備を行った。 また、歩行者と分離された自転車走行空間を整備した。	道路新設改良費のうち P336 ～ P338																											